

<自主的努力項目記入書式>

提携先	上士幌町農業協同組合	記入日	2010/9/19
登録消費材名	(加工品)大豆ドライパック・大正金時ドライパック (小袋)小豆・秋田大豆・大正金時・福白金時・中長うずら		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

4年輪作体系の確立や堆肥の有効活用を通じ、地域循環型農業を迫及しながら、安全・安心な農産物の安全供給を目指し、化学肥料・農薬の使用を抑える取り組みを実践してきました。

秋田大豆では、大豆収穫利用組合全体での北海道認証の「イエスクリーン」を取得・実践してきました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

秋田大豆の調製施設を新築(小麦と共用・22年産より利用開始)し、調整能力を向上させた。

小袋の圧着不良クレームの減少を目指し圧着機を更新したが、クレーム減少とはなっていない。新施設で作業効率が向上される分、確認作業を充実させていきたい。

福白金時・中長うずらの安定供給のため、契約農家を増やした。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

豆類の作柄に関らず安定供給を目指す。減農薬栽培への取り組みを強化する。

全作物において、GAP(生産工程管理)を本年より開始する。GAPを基に新たな営農指導を行えるよう体制づくりを行う。